

橘高等学校定時制令和05年度 教科国語 科目現代文 年間授業計画

教科 科 : 国語 科目: 現代文 単位数: 2 単位

対象学年組 : 第3 学年 1 組

教科担当者名 : (1 組: 並木 信人 )

使用教科書 : (現代文 A 改訂版 (大修館書店) )

使用教材 : (作成プリント )

学期	指導内容	教科国語の具体的な指導目標	予定 時数
1 学期	文化の理解。 「和の思想、間の文化」	日本文化の伝統的な特質を理解するとともに、日本文化についての正しい知識を身につける。	2 4
2 学期	文化の理解。 「実体の美と状況の美」	日本文化の特質をに理解するとともに、欧米文化についての知識を身につける。	1 4
	小説を楽しむ 「最後の一句」 「檸檬」	修学旅行先を舞台とした小説を読解し、修学旅行の事前学習とする。	1 4 合計 5 2
3 学期	ことばと文化 「ものことば」	論説文を読解して、言語の特質を理解する。。	1 8
			合計 7 0

評価の観点・方法 :

毎時の授業に積極的に取り組み、文章を的確に理解でき、自分の考えを具体的に表現できたかで評価する。

橘高等学校定時制令和05年度 教科地歴 科目世界史A 年間授業計画

教科 科 : 地歴 科目 : 世界史A 単位数 : 2単位

対象学年組 : 第3学年 1組

教科担当者名 : (1組 : 幸田 まゆ)

使用教科書 : (明解新世界史A (帝国書院))

使用教材 : (自作プリント)

学期	指導内容	教科地歴の具体的な指導目標	予定 時数
1 学期	ルネサンスと宗教改革 大航海時代の始まり イギリス革命とフランスの絶対王政 アジア・アメリカに進出するヨーロッパ イギリスから独立するアメリカ	○大航海時代が世界に与えた影響について理解させる。 ○市民革命が起こり、欧米の社会制度がどのように変化したか、理解させる。 ○アメリカ独立戦争の世界史における意義について理解させる。	24
2 学期	ヨーロッパ近代化の出発点フランス革命 ナポレオンの支配からウィーン体制 産業革命 世界の工場イギリス 南北戦争と戦後の発展	○自由主義とナショナリズムからフランスで二度の革命が起きたことについて理解させる。 ○産業革命が資本主義社会を生み出し、社会運動の発生につながったことを理解させる。 ○世界最大の工業国となったイギリスが植民地を拡大していくことを理解させる。	28
			合計 52
3 学期	ロシアの改革と東方問題 ムガル帝国の崩壊とインド大反乱 東南アジアの植民地化 中国と日本の開国 世界の分割を進めた帝国主義	○ロシアの南下政策がヨーロッパや東アジアでの対立につながることを理解させる。 ○欧米列強諸国がアジア諸国を植民地化していく中で、中国や日本で体制の変化が起こることをとらえさせる。 ○欧米列強諸国の帝国主義の流れの中で、第一次世界大戦の火種が生まれることを理解させる。	18
			合計 70

評価の観点・方法 :

関心・意欲・態度	世界史の事象に関心を持ち、主体的に授業に参加しようとする。
技能・表現	世界史の重要な出来事について資料から読み取ることができる。
思考・判断	出来事や事件の背景、歴史の流れを考察することができる。
知識・理解	基本的な世界史の用語を理解し、一問一答の問題に解答できる。

橘高等学校定時制令和05年度 教科理科 科目物理基礎 年間授業計画

教科 科 : 理科 科目: 物理基礎 単位数: 2 単位

対象学年組 : 第3 学年 1 組

教科担当者名 : (1 組: 土屋 光義)

使用教科書 : (物理基礎 (東京書籍))

使用教材 : (なし)

学期	指導内容	教科理科の具体的な指導目標	予定 時数
1 学期	○速度と加速度 ○自由落下 ○さまざまな力 ○運動の法則	○速度と加速度におけるベクトルの概念を 理解させる。 ○物体の落下速度の計算できるようにす る。 ○力の種類、性質を理解させる。 ○運動の法則を理解させる。	24
2 学期	○仕事と力学的エネルギー ○力学的エネルギー保存則 ○熱とエネルギー ○波の性質 ○音波	○仕事の概念を理解させる。 ○運動エネルギーと位置エネルギーの関 係を理解させる。 ○熱もエネルギーの一種であることを理 解させ、微視的に考察させる。 ○波の基本性質を知る。 ○音波の基本性質を知り、基本計算をでき るようにする。	29
			合計 53
3 学期	○電気の性質、静電気 ○オーム法則 ○電気とエネルギー ○交流と電磁波	○静電気を体感し、微視的に考察させる。 ○電流、電圧、抵抗の関係を理解させる。 ○電力、電力量の基本計算をできるように する。 ○交流、直流の性質を知る。	17
			合計 70

評価の観点・方法:

関心・意欲・態度: 授業内での発言やプリントの記述、自己評価・相互評価など

思考・判断・表現: プレゼンテーション、グループワークなど

技能: 実験の様子など

知識・理解: 定期考査、観察・実験レポートなど

橘高等学校定時制令和05年度 教科 保健体育 科目 体育 年間授業計画

教科 科 : 保健体育 科目 : 体育 単位数 : 2単位

対象学年組 : 第3学年 1組

教科担当者名 : (馬場 正彦 佐藤 佑哉 )

使用教科書 : (最新高等保健体育 改訂版 )

使用教材 : (なし )

学期	指導内容	教科体育の具体的な指導目標	予定 時数
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション</li> <li>・体力測定</li> <li>・体づくり運動</li> <li>・バスケットボール</li> <li>・バドミントン</li> <li>・卓球</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体の調子を整え、体力の向上を図るために授業開始後10分間程度柔軟体操、体幹トレーニングを行う。</li> <li>・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能と仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする(球技種目)。</li> </ul>	24
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サッカー</li> <li>・バスケットボール</li> <li>・長距離走</li> <li>・卓球</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サッカーやバスケットボールでは、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防を展開できるようにする。</li> <li>・長距離走では、自己のねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための継続的な運動の計画を立て取り組むことができるようにする。</li> </ul>	28
			合計 52
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長距離走</li> <li>・体育理論</li> <li>・選択種目</li> <li>バレーボール</li> <li>バドミントン</li> <li>卓球など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記録の向上や競争の楽しさや喜びを深く味わい、ペースの変化に対応して走ることができるようにする。</li> <li>・バレーボールやバドミントン、卓球などでは、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防を展開できるようにする。</li> </ul>	18
			合計 70

評価の観点・方法 :

- ・関心・意欲・態度 : 自ら進んで運動を実施し、運動の楽しさや喜びを体得しようとする。
- ・技能 : 競技に必要な技能や体力を高めるための運動の行い方を身につけている。
- ・思考・判断・表現 : 課題の解決を目指して、活動の仕方を考え、工夫している。
- ・知識・理解 : 運動の特性や運動の意義を理解し、知識を身につけている。
- ・上記の観点を総合的に判断して評価を行う。

橘高等学校定時制令和05年度 教科芸術 科目音楽I 年間授業計画

教科 科 : 芸術 科目 : 音楽I 単位数 : 2単位

対象学年組 : 第3学年 1組

教科担当者名 : (1組 : 小池 里美)

教科書 : (『ON!1』 (音楽の友社))

使用教材 : (なし )

学期	指導内容	教科芸術の具体的な指導目標	予定 時数
1 学期	・器楽 ・鑑賞	器楽 : 基礎知識・楽器の解説 鑑賞 : 伝統音楽・民族音楽	24
2 学期	・歌唱 ・器楽 ・鑑賞	歌唱 : 合唱 器楽 : アンサンブル・バンド演奏・コード ネーム・和声 鑑賞 : オペラ・ミュージカル	28
			合計 52
3 学期	・歌唱 ・器楽 ・鑑賞	歌唱 : 独唱・1年間のまとめ 器楽 : 演奏発表・まとめ 鑑賞 : 「生徒研究発表」 レポート・まとめ・発表	18
			合計 70

評価の観点・方法 :

関心・意欲・態度  
技能・表現  
思考・判断  
知識・理解

歌唱テストや演奏発表、提出物や授業のとりくみ等で評価する。

橘高等学校定時制令和05年度 教科芸術 科目美術 I 年間授業計画

教 科 : 芸術 科 目 : 美術 I 単位数 : 2 単位

対象学年組 : 第3 学年 1 組

教科担当者名 : (1 組 : 三沢 幸彦)

使用教科書 : (美術 I (光村図書出版))

使用教材 : (なし )

学期	導内容	教科芸術の具体的な指導目標	予定 時数
1 学期	①鉛筆デッサン ・明暗のグラデーション作成 ・基本形態を描く ・紙の立体を描く ・自分の手を描く ②人物クロッキー	・鉛筆の表現方法・調子の作り方を理解し、明暗のグラデーションを丁寧に作成する。 ・対象物の透視的見方と光と陰影の表現。 ・手の比例、構造、表情に気づき、表現に生かす。 ・人体の比例、骨格、動勢の確認と把握。	2 4
2 学期	①色彩の基礎 ・色のしくみ ・色の混色 ・色の配色 ②平面構成：リピテーション ③自己PRを絵と言葉で表現する。	・色の三原則、色相環、色立体の理解。 ・イメージに基づく配色と配色カードの見本に沿った色出し。 ・暮らしの中の文様や様々な地域の文様に関心を持つ。 ・リピテーション(繰り返し)構成の特色と効果について。 ・ユニット(単位)のデザインと構成画面の展開方法。 ・構成イメージと色のイメージを理解して配色する。 ・自分の宣伝材料の収集と内容の検討。 ・自分の宣伝材料を絵と言葉で画像構成する。	2 8
			合計 5 2
3 学期	① 公共ポスター制作	・ポスターの役割について理解し、ポスターデザインに関心を持つ。 ・公共広告の意味や役割について理解し、テーマを決定する。 ・テーマに沿ったキャッチコピーを考案し、図柄のアイデアをスケッチを重ねて検討する。 ・視覚的效果を配慮したレイアウト、文字のレタリング、配色の工夫ができる。	1 8
			合計 7 0

評価の観点・方法 :

- ・授業態度、課題に対する関心意欲、準備と片付け
- ・作品内容、創意工夫及び完成度
- ・制作内容の理解、製作過程での取り組み

橘高等学校定時制令和05年度 教科芸術 科目書道 I 年間授業計画

教 科 : 芸術 科 目 : 「書道 I」 単位数 : 2 単位

対象学年組 : 第3 学年 1 組

教科担当者名 : (1 組 : 小笠原 聡亮)

使用教科書 : (『書道 I』光村 )

使用教材 : (なし )

学期	指導内容	教科芸術の具体的な指導目標	予定 時数
1 学期	【硬筆】硬筆検定3級理論：過去問題・部首名・筆順・草書・常用漢字・実技 楷書体基本：縦・横書き	・文部科学省公認硬筆検定試験3級過去問題を中心に理論を学ぶ。 ・楷書体の2字、熟語の縦書き・横書きの収め方を中心に指導する。	24
2 学期	【毛筆】楷書体基本点画：「三川」「人口」「元水」「日月」 その他2字熟語、自由課題及び4字熟語、自由課題 【硬筆】硬筆検定3級理論：過去問題・部首名・筆順・草書・常用漢字・実技 楷書体基本：縦・横書き	・楷書体基本用筆（横画・縦画・左右払い・曲がり・点・ハネ）を充分練習し、基本的な用筆法を身につける。 ・文部科学省公認硬筆検定試験3級過去問題を中心に理論を学ぶ。 ・楷書体扁傍の書き方と筆順にも注意しながら理解させる。	28
			合計 52
3 学期	【毛筆】楷書体基本点画：「水月」「比能」 その他2字熟語、自由課題及び4字熟語、自由課題 【毛筆】仮名基本点画 いろは歌単体48字、色紙制作、自由課題	・行書の基本用筆（続ける・連続・省略・筆順・方向・曲み）を理解し、基本的な用筆法を身につける。  ・仮名の基本用筆（細→太→細）を理解し、字母を考えながら単体48字を目標とする。 ・自己の書写能力到達（色紙）作成。	18
			合計 70

評価の観点・方法 :

・作品、出席状況、授業態度、後片付け等、総合的に評価する。

関心・意欲・態度：用具、用材の理解。

技能・表現：正しい執筆法、姿勢。

思考・判断：基本点画、構成法。

知識・理解：筆順、部首名、許容体、旧字体、平仮名の字母。

橘高等学校定時制令和05年度 教科情報 科目社会と情報 年間授業計画

教科 : 情報 科目 : 社会と情報 単位数 : 2単位

対象学年組 : 第3学年 1組

教科担当者名 : (1組 : 程島 )

使用教科書 : (新・見てわかる社会と情報 (日本文教出版) )

使用教材 : (なし )

学期	指導内容	教科〇〇の具体的な指導目標	予定 時数
1 学期 計	第1章 情報機器を使いこなそう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報機器の特徴と役割について、ワープロソフトウェア、表計算ソフトウェアなどの基本操作を実習で確認しながら理解させる。</li> <li>・事例を提示しながら、基本的な情報モラルやマナーを身に付けさせる。</li> <li>・情報化が進むことで生じる課題について理解させる。</li> <li>・情報セキュリティを高めるためのさまざまな方法や利用者側の注意事項を理解させ、著作権や個人情報について理解させる。</li> </ul>	6
	第1節 情報機器の基本的な使い方		8
	第2節 情報機器を利用するときの注意点		10
	第4章 情報社会の課題について考えよう		
	第1節 情報化が社会に及ぼす影響と課題		
	第2節 情報セキュリティの確保		合計
	第3節 情報社会における法と個人の責任		24
計 2 学期	第2章 コンピュータを使いこなそう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報を相手に効果的に伝えるための手段や方法を理解させる。</li> <li>・表計算ソフトウェアの操作方法の習得を目指し、プレゼンテーション用ソフトウェアの操作実習を通して、情報発信の方法を習得させる。</li> </ul>	2
	第1節 コンピュータを使ってみよう		4
	第2節 文章を作成してみよう		4
	第3節 情報を整理して伝えよう		10
	第3章 情報を整理して伝えよう		
	第1節 問題解決の手段と方法		6
	第2節 情報をわかりやすく伝える		合計
			26
計 3 学期	第5章 情報社会の仕組みを知ろう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーション手段の発達、情報の特徴、メディアの意味などを整理し、理解させる。</li> <li>・デジタルデータ、アナログデータを比較しながらそれらの特徴を理解させる。</li> <li>・現在の情報通信ネットワーク、および、情報システムの基本的な仕組みから、今後の情報社会における各自の行動のあり方について考えさせる。</li> </ul>	20
	第1節 情報通信ネットワークとコミュニケーション		
	第2節 情報のデジタル化		
	第3節 情報通信ネットワークのしくみ		
	第4節 望ましい情報社会を築く		
			合計
			70

評価の観点・・・・・・・・・・ 考査結果、出席状況、授業態度、提出物など。

関心・意欲・態度・・・・・・・・ 授業で取り上げる事柄に関心をもち、意欲的に参加している。

技能・表現・・・・・・・・・・ 情報機器やソフトウェアを効率的に活用できる。

思考・判断・・・・・・・・・・ 自らの判断で情報機器やソフトウェアを適切に操作できる。

知識・理解・・・・・・・・・・ 情報社会を生きるための基本的な知識を習得している。



橘高等学校定時制令和05年度 教科:工業 科目:課題研究 年間授業計画

教科 科 : 工業 科目 : 課題研究 単位数 : 3単位

対象学年組 : 第3学年 1組

教科担当者名 : (五十嵐 裕明・大澤 正則・伊藤 博)

使用教科書 : (なし )

使用教材 : (補助教材・プリントは各班にて必要に応じて設定する)

学期	指導内容	教科産業の具体的な指導目標	予定 時数
1 学期	3班編成にて各テーマを学習する。 1班:通年で設定したテーマを学ぶ。 2班・3班:1年間を前後半にわけ 設定したテーマを学ぶ。  作品製作・課題提出を通して ものつくりを体験的に理解する。	各班で設定する。	36
2 学期	前期と同様	前期と同様	42
			合計 78
3 学期	前期と同様	前期と同様	27
			合計 105

評価の観点・方法 :

出席状況・授業態度・作品(課題)の完成度あいの3つの観点を総合的に判断して評価を行う。

橘高等学校定時制令和05年度 教科商業 科目課題研究 年間授業計  
(ビジネス)

教 科 : 商業 科目: 課題研究 (ビジネス) 単位数: 3 単位

対象学年組 : 第3 学年 1 組

教科担当者名 : (1 組: 柚木 治夫)

使用教科書 : (なし )

使用教材 : (適宜、プリント教材を使用予定 )

学期	指導内容	教科産業の具体的な指導目標	予定 時数
1 学期	経済にかかわるビジネスの基礎についての授業展開をする。	基礎的な経済用語の習得に重点を置く。	3 6
2 学期	商品の流通についての授業展開をする。	商品の流通・販売の基礎・基本を習得させる。	4 2
			合計 7 8
3 学期	総合的な学習	ビジネス全般について、生産・物的流通・販売・消費について、問題演習や DVD を通じて総合的に習得させる。	2 7
			合計 105

評価の観点・方法 :

評価の観点

関心・意欲・態度 5 0 %

技能・表現 3 0 %

思考・判断 1 0 %

知識・理解 1 0 %

橘高等学校定時制令和05年度 教科産業 科目産業実習 年間授業計画

教科 科 : 産業 科目 : 3年産業実習 単位数 : 2単位

対象学年組 : 第3学年 1組

教科担当者名 : (1組 : 五十嵐 裕明・伊藤 博 )

使用教科書 : ( なし )

使用教材 : (補助プリント、電動ろくろ、電気炉、切削工具、ガラス工芸用器具など)

学期	指導内容	教科産業の具体的な指導目標	予定 時数
1 学期	3年生15名を2班に分け、1年間に 4期(1期約7週)に分ける。 ・陶芸班。手びねり、電動ろくろで 作品製作。 ・工芸班。陶芸用品とガラス工芸: マイクロモザイクの部品・作品等製作 を行う。	各班で設定する。	24
2 学期	同様	各班で設定する。	28
			合計 52
3 学期	同様	各班で設定する。	18
			合計 70

評価の観点・方法 : 出席状況・授業態度・作品の完成度あいの3つの観点を総合的に判断して評価する。

橘高等学校定時制令和05年度 教科産業 科目情報基礎 年間授業計画

教科 科 : 産業 科目: 情報基礎 単位数: 2単位

対象学年組 : 第3学年 1組

教科担当者名 : (1組: 五十嵐 裕明)

使用教科書 : ( なし )

使用教材 : (PC・各検定のプリント・過去問題 )

学期	指導内容	教科産業の具体的な指導目標	予定 時数
1 学期	3年生について個別でPCを使い授業を進める。生徒の達成度を見ながら課題を進めていく。  1. PCの基本操作を理解する ①タイピング練習	PCの基本操作を習得する。 正確なタイピングができる。 基本を理解し、実践的な使用ができる。	24
2 学期	情報処理技能検定 ① 日本語ワープロ 4級～3級 ② 文書デザイン 4級～3級 ③ プレゼンテーション 4級～3級 ④ 表計算 4級～3級 合格レベルを目指し練習する。	各検定について、合格基準を満たせるよう過去問を練習させる。	28
			合計 52
3 学期			18
			合計 70

評価の観点・方法 :

出席状況・授業態度・各検定の成績を基に総合的に評価する。

橘高等学校定時制令和05年度 教科産業 科目情報演習 年間授業計画

教科 : 産業 科目 : 情報演習 単位数 : 2単位

対象学年組 : 第3学年 1組

教科担当者名 : (1組 : 上野 笑子)

使用教科書 : (なし )

使用教材 : ( )

学期	指導内容	教科産業の具体的な指導目標	予定 時数
1 学期	・ワープロ及びExcelの活用 ① Word・Excelの基本操作 ② 文章入力と修正 ③ 書式変更と文書編集	・正確な入力技術の習得 (タッチタイピングを修得させる) ・文章の構成力向上 ・入力速度の向上	24
2 学期	・ワープロ・表計算ソフトの活用 ④ 罫線の作成と編集 ⑤ 図形の利用 画像の挿入・編集	・文書の体裁を考えさせる ・他人に解るビジネス文書の作成 ・文書デザインの作成	28
			合計 52
3 学期	・表計算ソフトウェアの活用 ①Excelの基本操作 ②関数の利用	・セルについて考える ・関数の利用 (SUM・AVERAGE・MAX・MIN・COUNT・COUNTA・IF・RANK)	18
			合計 70

評価の観点・方法 :

評価の観点

関心・意欲・態度 25%

技能・表現 25%

思考・判断 25%

知識・理解 25%

橘高等学校定時制令和05年度 教科産業 科目ビジネス経営 年間授業計画

教科 科 : 産業 科目: ビジネス経営 単位数: 3単位

対象学年組 : 第3学年 1組

教科担当者名 : (1組: 柚木 治夫)

使用教科書 : (なし (すべてプリントで対応する) )

使用教材 : (プリント )

学期	指導内容	教科産業の具体的な指導目標	予定 時数
1 学期	簿記2級お呼び3級の学習 資産・負債・資本・貸借対照表 収益・費用・損益計算書 取引と勘定 仕訳と勘定への記入	プリント等で記帳演習を行いながら指導する。 テスト等を行い、理解度を確認する。	36
2 学期	試算表・決算 現金・預金の記帳・商品の記帳 掛け販売の記帳・手形の記帳	取引の仕訳、勘定記入を経て決算に至るまでの仕組みについて理解を深められるよう、記帳演習を繰り返し行う。 さまざまな取引について学ぶと同時に記帳演習を十分行い、知識の定着をはかる。(定期考査3・4)	42
			合計 78
3 学期	入金伝票・出金伝票・振替伝票 仕訳集計表 個人企業の税金・青色申告制度	ビジネスにおける販売取引について、実務でよく使われる伝票記帳について理解するとともに、個人企業における税務についてふれ、起業人としての基礎知識を養う。 (定期考査5)	27
			合計 105

評価の観点・方法 :

関心・意欲・態度	日常の授業への参加態度・取り組み姿勢を総合的に評価する。
技能・表現	課題提出等の状況を総合的に評価する。
思考・判断	学習活動における思考や判断の状況を総合的に評価する。
知識・理解	定期考査・演習問題の状況を総合的に評価する。

# 3 学年三修制

橘高等学校定時制令和05年度 教科国語 科目国語表現 年間授業計画

教科 科 : 国語 科目: 国語表現 単位数: 2単位

対象学年組 : 第3学年 1組 (三修制)

教科担当者名 : (1組: 並木 信人)

使用教科書 : (高等学校改訂版国語表現 (第一学習社) )

使用教材 : (作成プリント )

学期	指導内容	教科国語の具体的な指導目標	予定 時数
1 学期	高校生活を振り返って 漢字学習	教育漢字を正しく使い、与えられた題の小論文を的確に書けるようにする。	24
2 学期	社会に出たらやりたいこと。 漢字学習	小論文を書くことを通じて、自己の進路について考える。	14
	抽象的な題名の小論文 漢字学習	抽象的な題名の小論文を書くことを通じて、論理的思考力をみにつける。	14
		合計	52
3 学期	高校生活を通じて身につけた国語力の確認。	実力テストを解くことを通じて、自分が高校生活を通じて身につけた国語力を具体的に確認する。	18
			合計

評価の観点・方法 :

毎時の授業に積極的に取り組み、文章を的確に理解でき、自分の考えを具体的に表現できたかで評価する。



橘高等学校定時制 令和5年度 教科数学 科目数学A 年間授業計画

教科 科 : 数学 科目 : 数学 A 単位数 : 2 単位

対象学年組 : 第3 学年 三修制

教科担当者名 : 1 組 : 久津見

使用教科書 : 東京書籍 改訂 新数学 A

使用教材 : なし

学期	指導内容	教科数学の具体的な指導目標	予定 時数
1 学期	2 章 図形の性質 1 節 三角形の性質 重心・内心・ 外心	・ 三角形の重心・外心・内心の求め方が理解でき ているか、それらの性質が理解できているか。	1 4
	2 節 円の性質 円周角の定理、 円に内接する四角形の性質、 円と直線の関係、三平方の定 理	・ 円周角の定理、方べきの定理が理解でき、それ らを利用し各問題が解けるか。	1 4
			合計 2 8
2 学期	3 章 整数の性質 1 節 約数と倍数 約数と倍数 最大公約数、最小公倍数、ユーク リッドの互除法	・ 最大公約数、最小公倍数が求められるか、ユーク リッドの互除法を理解し、自身で求められる か。	1 2
	2 節 整数の性質の応用 方程式の整数解、少数と分数	・ 方程式の整数解が理解でき、自身で求められる か。分数と小数の関係が理解できているか。	1 2 4
	1 章 場合の数と確率 1 節 集合、和の法則と積の法則	・ 集合の概念、包含関係が理解でき問題が解ける。	合計 2 8
3 学期	2 節 場合の数 順列、組合せ、確 率の計算、独立試行の確率	・ 順列、組合せについて理解でき、文章問題にお いてどちらで求めるのか判断でき、問題が解け る。	1 4
			合計 1 4

評価の観点・方法

関心・意欲・態度 : 数学的な考え方に関心を持ち、事象の考察に活用しようとする。

技能・表現 : 数学的な見方や考え方を身に付け、多面的・発展的に考える。

思考・判断 : 数学的に考察し、表現や処理をする方法を学び、問題を解決する。

知識・理解 : 基礎的な知識とともに計算力を身に付ける。

橘高等学校定時制令和05年度 教科 保健体育 科目 体育 年間授業計画

教科 科 : 保健体育 科目: 体育 (三修制) 単位数: 1 単位

対象学年組 : 第3学年 1組

教科担当者名 : ( 馬場正彦 )

使用教科書 : (最新高等保健体育 改訂版 )

使用教材 : (なし )

学期	指導内容	教科体育の具体的な指導目標	予定 時数
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション</li> <li>・ウォーキング</li> <li>・体力づくり運動</li> <li>・卓球</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育理論</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の能力に応じて、長い距離を継続して歩けるようになる。</li> <li>・自己の体に関心を持ち、それぞれの課題を持って実践する。</li> <li>・互いに協力しながら、体力を高める。</li> <li>・自己の安全管理ができるようにする。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会の変化とスポーツ、運動技能の構造と運動の学び方、体力の高め方について学び実践に役立てる。</li> </ul>	27
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウォーキング</li> <li>・体力づくり運動</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育理論</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の能力に応じて、長い距離を継続して歩けるようになる。</li> <li>・自己の体に関心を持ち、それぞれの課題を持って実践する。</li> <li>・互いに協力しながら、体力を高める。</li> <li>・自己の安全管理ができるようにする。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会の変化とスポーツ、運動技能の構造と運動の学び方、体力の高め方について学び実践に役立てる。</li> </ul>	8
			合計 35
3 学期	なし	なし	
			合計 35

評価の観点・方法 :

- 関心・意欲・態度：自ら進んで運動を実施し、運動の楽しさや喜びを体得しようとする。
- 技能：競技に必要な技能や体力を高めるための運動の行い方を身につけている。
- 思考・判断・表現：課題の解決を目指して、活動の仕方を考え、工夫している。
- 知識・理解：運動の特性や運動の意義を理解し、知識を身につけている。

橘高等学校定時制令和05年度 教科英語 科目英語表現 I 年間授業計画

教科 科 : 英語 科目 : 英語表現 I 単位数 : 2 単位

対象学年組 : 第3 学年 1 組 (三修制)

教科担当者名 : (1 組 : 仲瀬 久幸)

使用教科書 : (Vision Quest English Expression I Standard (啓林館))

使用教材 : (なし )

学期	指導内容	教科英語の具体的な指導目標	予定 時数
1 学期	Lesson 2 5 文型 Lesson 1 否定文・疑問文 Lesson 3 時制 Lesson 5 助動詞	●基本的な文型を理解できる ●教科書の単語・熟語を理解できる ●指名された際に「分からない」で済ませないように指導を行う	2 4
2 学期	Lesson 6 受動態 Lesson 7 不定詞 Lesson 8 動名詞 Lesson11 比較	●基本的な文型を理解できる ●教科書の単語・熟語を理解できる ●指名された際に「分からない」で済ませないように指導を行う	2 8
			合計 5 2
3 学期	Lesson12 仮定法	●基本的な文型を理解できる ●教科書の単語・熟語を理解できる ●指名された際に「分からない」で済ませないように指導を行う	1 8
			合計 7 0

評価の観点・方法 :

- 関心・意欲・態度 指名回答に応じようとすることができる。自発回答ができる。
- 技能・表現 基本5文型を踏まえて英文を正しく書くことができる。
- 思考・判断 英語での言い回し・語順を正確にとらえることができる。
- 知識・理解 教科書内容の単語・熟語を覚え、読み書きができる。